

2009年10月30日

各位

米国AIG本社(AIG Inc.)による弊社株式譲渡計画の変更について

A I Gエジソン生命保険株式会社
代表取締役社長 片岡一則

拝啓

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素より格別のご高配を賜り厚く 御礼を申し上げます。

A I Gエジソン生命保険株式会社の実質的な親会社である米国A I G本社（以下、AIG Inc.）は、10月30日、AIGグループ傘下の生命保険会社である弊社とAIGスター生命の株式譲渡計画を変更し、両社の株式を引続き保有することを発表しました。

AIG Inc.は2008年10月に、世界規模での生命保険事業の見直しを実施し、弊社を含む日本の生命保険事業の株式を譲渡する意向があることを明らかにしました。以降、AIG Inc.によって、堅固な財務状況を有する弊社株式の譲渡先の選定が行なわれておりました。

その後、今年8月にAIG Inc.の社長兼CEOに就任したロバート・H・ベンモシェのもとで、AIG Inc.への公的支援の現況や、安定した回復を示す金融市場の状況を踏まえ、弊社の株式譲渡計画の現時点における妥当性の検証を改めて行ないました。その結果、AIG Inc.は日本市場における弊社の営業力やサービス品質を高く評価し、AIGグループの下で弊社事業のさらなる成長を図ることがAIGグループ全体としての企業価値向上につながるとの結論に達し、弊社の株式を引き続き保有することを決定しました。

これまで大変ご心配をおかけいたしました。弊社の保険事業は堅調に推移し、財務状況も健全に保たれております。2009年度第1四半期（4月～6月）において、2兆4,368億円の総資産を保有し、保険金等の支払い余力を示すソルベンシー・マージン比率は1,089.2%と引き続き高い財務健全性を維持し、皆さまへの保険金等のお支払について支障はございません。

弊社は現在、市場競争力の強化およびお客さま満足度の向上によってさらなる成長を遂げるための、新たなビジネスモデルの構築に取り組んでおり、すでにその成果が様々な形として現れています。これからも、「日本で最高のセールス&サービス・カンパニー」としてお客さまから選ばれ続け、さらなるご満足をいただけるよう、これまで以上に社員一同、気持ちも新たに取り組んでゆく所存です。

なお、弊社を含めた日本における保険事業免許に基づき営業を行う生命保険会社の保険契約は、保険業法等で保護されていますので、今回の発表やAIG Inc.の米国政府からの支援状況によって、保険契約が影響を受けることは一切ございませんので、ご安心いただきますようお願い申し上げます。

今後とも弊社をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

敬具